

平成30年度 生徒募集

募 集 要 項

高校生としての基本的な生活習慣をしっかり身につけるとともに、自ら自分の人生を切りひらく力を養い、自己の可能性を追求し、夢の実現のため日々努力する生徒を育成します。

平成30年度募集定員 480名(男・女)

課程名	募集定員	普通科内訳
普通科	410名	特別進学コース 男・女 20名
		総合スポーツコース
		・体育進学 男・女 60名
		・体育 男・女 60名
		・生涯スポーツ 男・女 30名
		ホスピタリティコース
		(旧 健康福祉コース) 男・女 40名
		食文化コース 男・女 60名
		情報コース 男・女 40名
		総合進路コース 男・女 40名
生活文化コース 男・女 60名		
自動車工業科	男・女 70名	

飛 龍 高 等 学 校

入学試験

募集人数 普通科(男・女) 410名 自動車工業科(男・女) 70名 合計 480名

出願条件 中学校を平成30年3月卒業見込みの者または中学校卒業者

出願手続

検定料納付	平成30年1月4日(木)から平成30年1月26日(金)までに検定料15,000円(納付書)を郵便局窓口で振り込んでください。(郵便ATM振り込み可) 日時厳守 でお願いします。
出願受付	平成30年1月29日(月)・1月30日(火) (1月29日は16時、1月30日は14時まで)
出願書類	1. 入学願書 2. 調査書 3. 検定料郵便振込証明書(願書貼付) 4. 出願者一覧表 特待者については、5. 特別奨学生推薦書 6. 推薦理由書(単願)が必要です。 なお、県外受験生で特待条件に該当する場合は5及び6を平成29年12月22日(金)までに提出してください。 *1~6の用紙は本校にて準備します。
出願場所	本校事務室にて受け付けます。 〒410-0013 沼津市東熊堂491
出願上の注意	黒のボールペンまたは万年筆を使って楷書で、数字は算用数字で記入してください。 生活文化コースも同時に願書の受け付けを行います。
県外中学校	願書の郵送を承っております。詳しくは別添のCD-ROMの中の募集要項をご覧ください。

入学試験

※ 試験についての詳細(試験室・面接日など)は、受験票と共に配布します。

検査日	平成30年2月6日(火)・2月7日(水) *学力検査2月6日、面接試験2月6日・7日
追試験	平成30年2月14日(水)
集合時間・場所	飛龍高等学校試験教室に午前8時30分までに入室してください。
検査場所	飛龍高等学校 〒410-0013 沼津市東熊堂491
検査内容	学力検査(国語・英語・数学、各50分)、面接
検査方法	調査書、学力検査、面接試験を総合的に評価します。
試験日の注意	・受験票・筆記用具(鉛筆・消しゴム)・上履き・昼食(6日に面接がある者) ・携帯電話等を持参した場合は電源を切り、鞆の中に入れておいてください。 ・遠距離受験者の面接は、6日(火)に行うよう配慮・調整します。 ・生活文化コースは別に試験を実施します。お問い合わせください。

合格発表 平成30年2月16日(金) 12:00

発表通知は、発表日午前中に各中学校長宛に郵送いたします。

*校内掲示はいたしません。また、電話での問い合わせには一切応じられません。

*地域によっては、時間(午前中)指定ができない場合がありますので、ご承知置きください。

入学手続

平成30年2月19日(月)・2月20日(火) 8:30~15:00 本校事務室で受け付けます。

*公立高校を併願受験する者 平成30年3月16日(金) 8:30~15:00 本校事務室で受け付けます。

*手続の際に合格通知を持参してください。また、同窓弟妹優待制度該当者は申請用紙の提出をお願いします。

入学手続の際に納入金 **170,000円** を本校事務室にて納入してください。

入学金及び 納入金額

[内訳 入学金 50,000円 施設拡充費 120,000円]

※ 一度納入された諸経費は、事情を問わず返金いたしません。

学 費

下記表は月額金額です。

区 分	普 通 科	自動車工業科
授業料	32,000円	34,000円
保護者会会費	1,000円	1,000円
生徒会会費	700円	700円

納入方法：年間を3期(4月末日、9月末日、12月末日)に分け、学校指定の金融機関から自動振替で納入します。

※ 後援会費 30,000円が第1期分納入時に引き落とされます。(入学時のみ)

※ 国(県)の法令に基づき、就学支援金制度を適用します。

奨学制度

飛龍高等学校には3つの奨学制度があります。

学業・スポーツに関する特待、同窓弟妹、在学兄姉優待などの奨学制度があります。

1. 特待制度

学業またはスポーツ・文化面で優秀な生徒を対象に、次の4つのランクの特待制度があります。

種 別 納付金項目 と金額	特待ランク及び内容			
	入学時の納付金		入学後の納付金	
特待ランク	入学金	施設拡充費	後援会費	授業料(月額)
	50,000円	120,000円	30,000円	32,000円(自工科34,000円)
S 特待	全額免除	全額免除	全額免除	全額免除
A 特待	—	—	—	全額免除
B 特待	—	—	—	普通科11,050円、自工科12,050円免除
C 特待	全額免除	—	—	—

* 特待・・・学業成績優秀者であり、スポーツ・文化活動で顕著な成績を収め、かつ生活態度が良好で、中学校長の推薦のある者を対象とします。(学業・スポーツ・文化)

* 授業料は、就学支援金助成後の金額に対し、上記を適用します。

注、就学支援金申請書は、特待のランクに関わらず全員提出してください。

2. 在学生奨学制度

入学後に各科・コースが定めた目標に向け努力し、その目標を達成した生徒については特待制度を適用します。

3. 優待制度

飛龍高等学校同窓会員の弟妹が入学する場合や、同時に2人以上の兄弟姉妹が、本校に在学している場合に次の優待制度があります。

(イ) 同窓弟妹優待(願書記入により申請)

兄姉(戸籍上)が本校の卒業生であり、学業成績が基準を満たしている場合に入学金を免除する優待制度です。

※ (イ)の同窓弟妹優待に該当する場合は、必ず入学願書の申込み欄に記入し、申請を行ってください。

(ロ) 在学者兄姉優待

同時に2人以上の兄弟姉妹が本校に在学する場合、兄姉にあたる生徒に普通科10,050円、自工科11,050円兄姉にあたる生徒が平成29年度以降入学の場合、普通科11,050円、自工科12,050円(月額)を給付する制度です。

1. の特待制度との併用はできません。

※ (ロ)の在学者兄姉優待の手続きについては入学後に行います。

- | |
|---|
| (1) 私立高等学校単願者及び併願者の判定は、合格、不合格の2種類とします。
(2) 定員に満たない場合は、再募集試験を行うこともあります。
(3) 私立高校入学試験を事情により受験できなかった場合は追試験を行います。なお、インフルエンザの罹患者は中学校長の証明で代用します。
(静岡県私学協会統一記載事項より) |
|---|

支援金及び減免制度(国や県による支援)

[就学支援金]

私立高校に通う生徒の授業料の負担を軽減するため、生徒に対して支給されるもので、入学後、課税証明書などの提出により審査されます。本校の授業料を限度として、一人あたりの助成額は市町村民税の所得割額によって異なります。したがって、就学支援金及び授業料減免対象者については、授業料を一旦納入していただき、その後、指定時期に支援金を返金するようになりますので、ご承知置さください。なお、就学支援金申請書は、特待のランクに関わらず全員提出してください。

※支援金は生徒本人に直接交付されるものではなく、学校が代理受領します。

[授業料減免]

就学支援金に加え、一定の要件を満たす世帯(児童扶養手当を受給している等)に対して、生徒一人当たり月額18,000円を上限に助成されるものです。

[助成月額]

(平成29年度参考)

	両親の市町村民税所得割額の合計	就学支援金額	授業料減免額	助成総額
A	304,200円以上	支給無し	支給無し	0円
B	154,500円以上～304,200円未満	9,900円/月	支給無し	9,900円/月
C	51,300円以上～154,500円未満	14,850円/月	支給無し	14,850円/月
D	1円以上～51,300円未満	19,800円/月	18,000円/月	37,800円/月
E	0円(非課税)	24,750円/月	18,000円/月	42,750円/月

※ 就学支援金及び授業料減免制度について

- ・ 入学後、市県民税の課税証明書などの提出により、助成額を審査します。
- ・ 本校の授業料を限度とし、授業料を超える部分の助成はできません。
- ・ この制度は、国(県)の法令に基づく支援制度です。法令の改正等により制度の内容が変更される場合がありますので、ご了承ください。

入試及び支援金等についての問い合わせ

☎ 055-921-7942(代)

飛龍高等学校事務室並びに募集室

飛龍高等学校

〒410-0013 静岡県沼津市東熊堂491

TEL 055-921-7942(代) FAX 055-924-6998

URL <http://www.hiryu.ed.jp> E-mail nyusi@hiryu.ed.jp

★ 生活文化コースは、別の募集要項となりますので、下記へ問い合わせください。

三島スクール 電話(055)971-2295 担当：堀田・

* 単願者の合格は、学則定員以内とします。